

第 8 回  
嬉野地区新高校  
設置準備委員会  
(資料)

平成 28 年 8 月 29 日  
佐賀県教育委員会

# 目次

頁

資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第7回新高校設置準備委員会報告まとめ . . . . .	1
資料 2	各種委員会について . . . . .	3
資料 3	学校行事について . . . . .	4
資料 4	部活動について . . . . .	6
資料 5	教育課程について . . . . .	12
資料 6	職員配置について . . . . .	20
資料 7	新高校設置準備委員会設置要領 . . . . .	23
資料 8	嬉野地区新高校設置に向けた検討体制 . . . . .	25
資料 9	嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成 . . . . .	26

## 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）

## 第7回新高校設置準備委員会報告まとめ

## 1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成28年 7月26日（火） 15時～16時30分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 10人 県教育委員会関係委員 8人
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成28年 7月27日（水） 10時～11時30分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成28年 7月27日（水） 15時～16時30分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 10人 県教育委員会関係委員 8人

伊万里地区については、第6回設置準備委員会を8月30日（火）に実施予定。

唐津地区については、第7回設置準備委員会を8月31日（水）に実施予定。

## 2 主な意見等

地区	主な意見等
鹿島地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の配置について、教科の教員数を削って養護教諭を賄わなければならない状況については、是非次回の委員会でその対応についての提案をお願いしたい。</li> </ul> <p>校時表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい校時は、いつから全校で導入するのか。</li> </ul> <p>部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動のチーム編成についてはどうなるのか。</li> </ul> <p>校名募集状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校名検討委員会で校名候補の絞り込みをするという事だが、その結果は公表するのか。</li> </ul>
杵島地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通科と商業科で卒業単位が異なるが問題ないのか。</li> <li>・ 職員配置については、管理職と養護教諭の各校舎への配置が不可欠であり、また、教育の充実のためには1人でも教諭が多い方が良い。</li> </ul> <p>移動手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動や学校行事における生徒の移動手段として、バスは準備してもらえるのか。</li> </ul> <p>学校目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標が多すぎて軸が定まらないため、整理が必要である。</li> </ul>

地区	主な意見等
	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在想定している職員配置でカリキュラムが実施できるのか、部活動が維持できるのか等のシミュレーションが必要ではないか。</li> </ul>
嬉野地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例えば「総合的な学習の時間」や「産業社会と人間」を共通科目としたプログラムを考えても良いと思う。</li> <li>・ 職員配置について、特に養護教諭は是非両校舎に配置をしていただきたい。</li> </ul> <p>部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動での移動は、貸切バスや公共のバスを利用しなければなかなか難しいと思う。</li> <li>・ 中学生が高校を選ぶときに、部活動というのは非常に大きなウェイトを占めている。どこで活動をするかというのは、保護者の送迎にも影響してくる。試算をして現実的に考えてほしい。</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新高校に関することについては、在校生にもしっかりと説明してほしい。</li> <li>・ 今までどおり塩田校舎は学年制、嬉野校舎は単位制で行うという理解でよいか、検討をしてもらいたい。</li> </ul>

資料2 各種委員会について

嬉野地区新高校 各種委員会（案）

No.	嬉野地区新高校 委員会（案）	（参考） 平成28年度現在	
		塩田工業 高校	嬉野高校
1	運営委員会 学校評価委員会		
2	衛生委員会		
3	教育課程委員会		
4	生徒指導委員会		
5	進路指導委員会		
6	特別活動委員会		
7	部活動振興委員会		
8	保健安全委員会		
9	人権・同和教育推進委員会 (障害者差別解消推進委員会)		
10	修学旅行検討委員会		
11	キャリア教育支援 事業推進委員会	-	
12	学校教育情報化推進委員会		
13	特別支援教育校内委員会		
14	業者選定委員会		-
15	いじめ・体罰等対策委員会		

○…設置有 -…設置無

資料3 学校行事について

1 主な学校行事の開催形態の検討状況（新高校開校後）

行事	新高校1年 旧高校2・3年	新高校1・2年 旧高校3年	新高校全学年
	H30年度	H31年度	H32年度以降
1学期始業式・退任式	*	△	○
入学式	○	○	○
開校記念行事	*	*	○
生徒総会	△	△	○
高校総体壮行式	*	△	○
開校記念式典	○	—	—
野球・九州・全国大会壮行式	*	△	○
1学期クラスマッチ	△	△	○
性教育講話	*	*	*
1学期終業式	*	△	○
防犯講話	*	*	○
3学期始業式	*	△	○
3年生を励ます会	*	*	○
学校祭(練習)	*	△	○
学校祭(当日)	*	△	○
薬物乱用講話	*	*	*
人権・同和教育講話	*	*	*
駅伝壮行式	△	△	○
全校マラソン大会	△	○	○
2学期終業式	*	△	○
3学期始業式	*	△	○
エイズ予防講話	*	*	*
学習成果発表会(本番)	○	○	○
3学期クラスマッチ(3年)	*	*	○
卒業式	*	*	○
3学期クラスマッチ(1, 2年)	△	○	○
3学期修了式	*	○	○
閉校式	—	*	—

表中の記号           ：合同実施で検討       \*：校舎ごとの実施を検討

                              ：上記2つのどちらにするか検討

行事は現在の両校のものに準じている。

< ポイントと今後の検討課題 >

入学式と学習成果発表会については開校時から合同開催とする。その他の行事については、旧高校と新高校の生徒数に応じて検討する。また、平成32年度（新高校全学年完成時）以降は、基本的に合同開催としているが、絞り込みを含め、各行事に対するシミュレーションを行い、運用については検討していく。

講話や講演会については、基本的に校舎別での開催を検討する。

合同開催とした場合は、以下の2つのパターンを基本として開催形態を検討する。

〔校舎間移動とする場合〕

移動手段の検討...学年や校舎単位での移動となるため、貸切バスを検討する。

〔登校時から合同開催する校舎に登校とする場合〕

公共交通面で困難な地域から通学する生徒（例えば大野原地区から通学する生徒）への配慮について検討する。

資料4 部活動について

- 1 新高校の部活動(案) 新高校完成時(平成32年度以降)  
(第7回嬉野地区新高校設置準備委員会資料から再掲)

	塩田校舎	嬉野校舎
体育系	野球(男) サッカー(男) バスケットボール(男) バドミントン(男) バレーボール(男) ソフトテニス(男) 柔道(男女) 剣道(男女)	陸上競技(男女) ソフトボール(女) バスケットボール(女) バドミントン(女) バレーボール(女) ソフトテニス(女) 卓球(男女)
文化系	美術(男女) 新聞(男女) 機械研究(男女)* 電気研究(男女)* 建築研究(男女)* ボランティア(男女)	和太鼓(男女) ソングリーディング(女) JRC(男女) 商業技術(男女) 情報処理(男女) 茶道(男女)

\* 機械研究、電気研究、建築研究については1つにまとめていくことも検討。



## 平成30年度（開校時）

【塩田校舎】新高校1年生3学級、塩田工業高校2・3年生6学級

【嬉野校舎】新高校1年生2学級、嬉野高校2・3年生6学級

## 〔基本方針と試算結果〕

現在の部活動をそのまま維持させる。

基本的には男子人数が多い部活動を塩田校舎、女子人数が多い部活動を嬉野校舎で行う。

この場合、校舎間を移動して活動することが想定される生徒数は、平成28年度の入部者実績から、以下のとおりである。

塩田校舎⇒嬉野校舎			嬉野校舎⇒塩田校舎		
男子	女子	合計	男子	女子	合計
22	0	22	38	11	49

## 平成33年度または平成34年度（1学年4学級完成時）

【塩田校舎】新高校1・2・3年生6学級

【嬉野校舎】新高校1・2・3年生6学級

## 〔基本方針と試算結果〕

設置予定の部活動は 参考資料 3のとおりでである。

基本的には男子人数が多い部活動を塩田校舎、女子人数が多い部活動を嬉野校舎で行う。

この場合、校舎間を移動して活動することが想定される生徒数は、平成28年度の入部者実績から、以下のとおりである。

塩田校舎⇒嬉野校舎			嬉野校舎⇒塩田校舎		
男子	女子	合計	男子	女子	合計
16	0	16	29	10	39

〔今後の検討課題〕

大会参加や通常の活動時の旧高校と新高校の取り扱い方をどうするか。  
現在、各部顧問で検討中。

活動場所について、案以上に効率のよいパターンがあるのか。  
体育館やグラウンドの使用状況、小規模な部活動の取り扱い等。

活動内容で工夫はできないのか。  
団体(集合)練習日と個人練習日の設定、男女合同練習日(特に嬉野校舎)の設定等。

部活動活性化の観点から、新高校については生徒全員を部活動に入部させる(以降、「全員部活動」)も検討していくことが考えられる。「全員部活動」とした場合の試算を行うと、校舎間を移動して活動することが想定される生徒数は「塩田校舎 嬉野校舎」では「全員部活動」としない場合とほぼ変わらないが、「嬉野校舎 塩田校舎」については「全員部活動」としない場合よりも20人程度の増が想定される。

活動に移動を伴う場合は、その移動手段を検討していく。  
試算からはバス1台分程度の人数の移動が想定できるが、活動内容の工夫等で対応できる部分や既存の移動手段(例えば公共交通機関、公用車、部活動で使用しているマイクロバス等)を利活用していくことのメリットやデメリットについても検討を進める。

設置する部については、生徒の入部状況に応じて、再度整理していく必要がある。  
現在は、大会等への引率や安全管理面で1つの部に複数人の部顧問を配置することを原則としているが、職員定数減により、そのことが難しくなることが想定されるため。

参考資料

1 平成30年度（開校時）の両校舎の部活動と活動人数の試算  
（平成28年度部活動人数嬉野校舎 \* 320/360）

部活動名		3クラス×3学年 定員360名		2+3+3クラス 定員320名		5, 6クラス×3学年 定員680名		
		塩田校舎		嬉野校舎		合計		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	総計
体育系	野球	50	0	9	4	59	4	63
	バレーボール	16	0	0	14	16	14	30
	バスケットボール	32	0	11	16	43	16	59
	陸上競技	11	0	5	3	16	3	19
	柔道	9	0	0	0	9	0	9
	剣道	3	0	4	2	7	2	9
	卓球	11	0	6	8	17	8	25
	サッカー	52	0	0	0	52	0	52
	ソフトテニス	24	1	0	8	24	9	33
	バドミントン	21	0	13	19	34	19	53
	ソフトボール		0		19	0	19	19
	体育系計		229	1	48	93	277	94
文化系	機械研究	12	0			12	0	12
	情報技術研究	14	0			14	0	14
	電気研究	3	0			3	0	3
	建築研究	0	1			0	1	1
	新聞	3	0			3	0	3
	美術	4	0	1	5	5	5	10
	吹奏楽	3				3	0	3
	ボランティア	7	0			7	0	7
	商業技術			8	24	8	24	32
	情報処理			2	7	2	7	9
	和太鼓			0	10	0	10	10
	JRC			0	18	0	18	18
	ソングリーディング			0	18	0	18	18
	茶華道			0	12	0	12	12
	文化系計		46	1	11	94	57	95
総計		275	2	59	187	334	189	523

  : 塩田校舎にて実施予定の部活動  
  : 嬉野校舎にて実施予定の部活動  
太字 : 移動が想定される部活動

移動が想定される 生徒数	塩田校舎⇒嬉野校舎			嬉野校舎⇒塩田校舎		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
	22	0	22	38	11	49

2 平成33または34年度(1学年4学級完成年度)の両校舎の部活動と活動人数の試算  
(平成28年度部活動人数\*480/720)

部活動名		2クラス×3学年 定員240名		2クラス×3学年 定員240名		4クラス×3学年 定員480名		
		塩田校舎		嬉野校舎		合計		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	総計
体育系	野球	34	0	7	3	41	3	44
	バレーボール	11	0	0	10	11	10	21
	バスケットボール	22	0	8	12	30	12	42
	陸上競技	8	0	4	2	12	2	14
	柔道	6	0	0	0	6	0	6
	剣道	2	0	3	2	5	2	7
	卓球	8	0	4	6	12	6	18
	サッカー	35	0	0	0	35	0	35
	ソフトテニス	16	1	0	6	16	7	23
	バドミントン	14	0	10	14	24	14	38
	ソフトボール		0		14	0	14	14
	体育系計	156	1	36	69	192	70	262
文化系	機械研究	8	0			8	0	8
	電気研究	2	0			2	0	2
	建築研究	0	1			0	1	1
	新聞	2	0			2	0	2
	美術	3	0	1	5	4	5	9
	ボランティア	5	0			5	0	5
	商業技術			8	24	8	24	32
	情報処理			2	7	2	7	9
	和太鼓			0	10	0	10	10
	JRC			0	18	0	18	18
	ソングリーディング			0	18	0	18	18
	茶華道			0	12	0	12	12
	文化系計	20	1	11	94	31	95	126
総計	176	2	47	163	223	165	388	

- : 塩田校舎にて実施予定の部活動
- : 嬉野校舎にて実施予定の部活動
- 太字** : 移動が想定される部活動

移動が想定される 生徒数	塩田校舎⇒嬉野校舎			嬉野校舎⇒塩田校舎		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
	16	0	16	29	10	39

(参考) 現在(平成28年度)の両校の部活動と活動人数

(単位:人)

部活動名		塩田工業高校		嬉野高校		合計		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	総計
体育系	野球	50		10	4	60	4	64
	バレーボール	16			15	16	15	31
	バスケットボール	32		12	18	44	18	62
	陸上	11		5	3	16	3	19
	柔道	9	1			9		9
	剣道	3		4	2	7	2	9
	卓球	11		6	8	17	8	25
	サッカー	52				52		52
	ソフトテニス	24	1		9	24	10	34
	バドミントン	21		14	21	35	21	56
	ソフトボール				21		21	21
	体育系計		229	2	51	101	280	102
文化系	機械研究	12				12		12
	情報技術研究	14				14		14
	電気研究	3				3		3
	建築研究		1			0	1	1
	新聞	3				3		3
	美術	4		1	7	5	7	12
	吹奏楽	3				3	0	3
	ボランティアクラブ	7				7		7
	商業技術			12	36	12	36	48
	情報処理			2	10	2	10	12
	和太鼓				14		14	14
	JRC				26	0	26	26
	ソングリーディング				26		26	26
	書道				7		7	7
	茶華道				17		17	17
	文化系計		46	1	15	143	61	144
総計		275	3	66	244	341	246	587
在籍者数(H28.5.1現在)		339	6	83	258	422	264	686

※嬉野高校の部活動所属者は延べ人数。

※データは平成28年5月1日現在。

※網掛けは設置無し。

資料5 教育課程について

1 学年制と単位制について

塩田校舎（工業科）...学年制

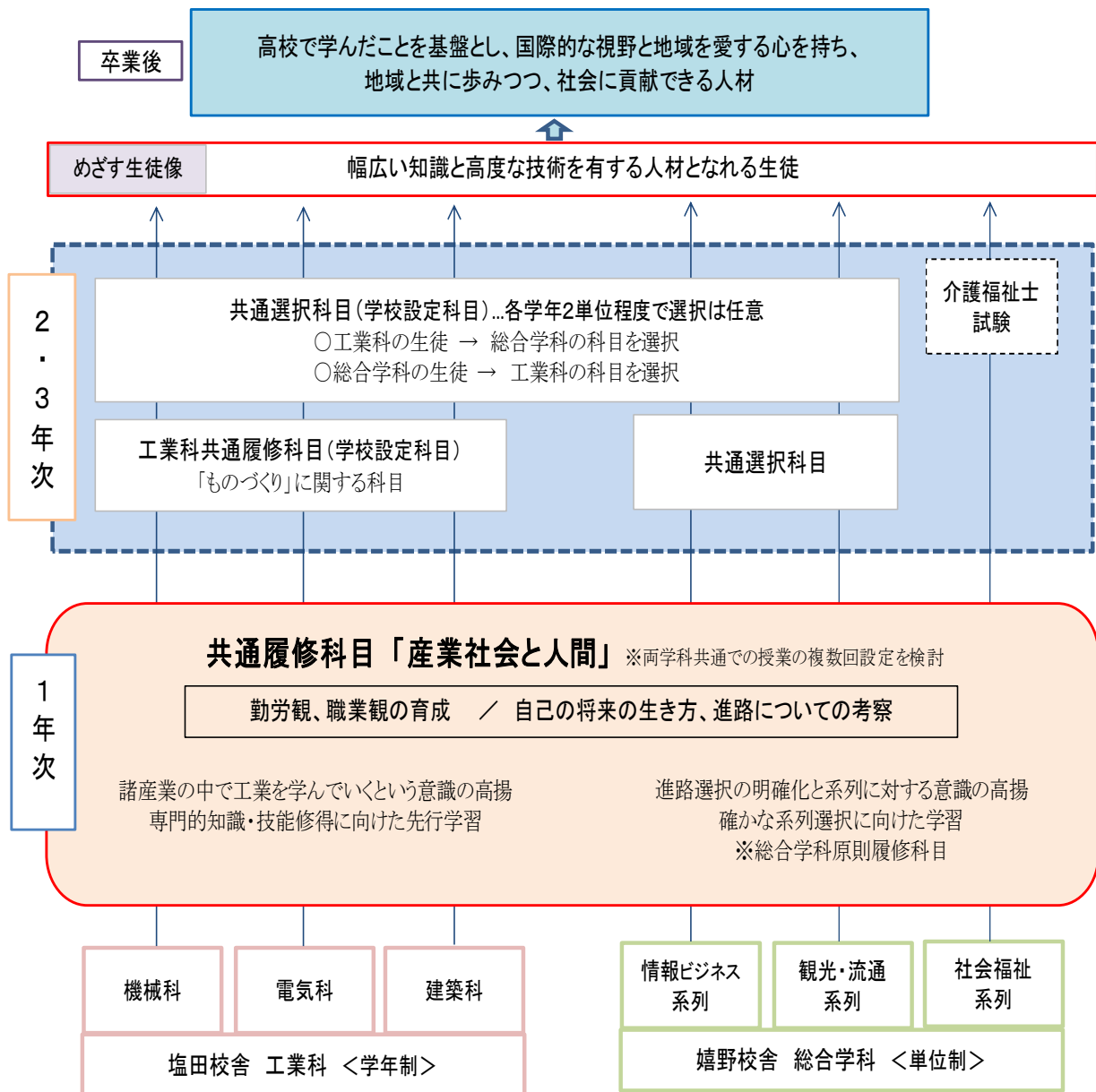
嬉野校舎（総合学科）...単位制

現行と同じ形

想定される課題

- ・校内での規程（内規）等の整理。
- ・生徒や保護者に対する、学年制と単位制の違いについての十分な周知。

2 教育課程編成に係るイメージ



## 【教育課程編成に向けてのポイント】

1年次に「産業社会と人間」を共通履修科目として設定する。

「産業社会と人間」は、総合学科の原則履修科目であるが、これを工業科の生徒も履修させ、勤労観、職業観を育て、自己の将来の生き方や進路についての考察を行わせる。基本的には各校舎での学習活動となるが、年に複数回、合同授業を行うことを検討する。

2・3年次に学科を越えた共通選択科目を設定する。

工業科の生徒が総合学科の設定科目を履修し、総合学科の生徒が工業科の設定科目を履修できるような教育課程の編成を行う。また、工業科では「ものづくり」をキーワードとした、小学科の枠を越えた共通履修科目の設定も検討する。総合学科では現行と同じく、共通選択科目を設定していく。

介護福祉士養成課程としての役割を果たす。

現行と同じく、総合学科の社会福祉系列では介護福祉士養成課程としての教育課程の編成とする。これまで培ってきた実績を生かして介護福祉士試験合格を目標とし、地域福祉に貢献できる人材を育てる。

## 【今後の課題】

「産業社会と人間」の運用について（年間計画の作成等）

- ・これまでの総合学科（嬉野高校）での実績を工業科にどのように反映させていくか。
- ・合同授業の内容をどうするか（合同で行うことの必然性と教育効果の検討）
- ・合同授業を行う場合は、生徒の移動手段の確保を検討する。

共通選択及び履修科目（2・3年次）の内容や授業形態について

- ・学校設定科目をどのように設定するか。
- ・教員定数と選択科目数のバランスをどのようにとっていくのか。
- ・授業形態については生徒の移動とするのか、教員の移動とするのか。

参考資料

塩田工業高校と嬉野高校の現在（平成 28 年度）の教育課程表

【塩田工業高校】

機械科

全日制課程 工業科（機械）

佐賀県立塩田工業高等学校

各教科に共通する教科・科目			入学年度		平成 28 年度入学生						
			学年	標準単位	1年	2年		3年		計	
						専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4	
		国語表現	3				(2)		0・2		
		現代文A	2				3	3	3	3	
		※漢字の世界	2~4			(2)			0・2		
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2	
		地理A	2	2					2	2	
		※現代史	2~4				(2)		0・2		
	公民	現代社会	2				3	3	3	3	
		政治・経済	2		(2)				0・2		
	数学	数学Ⅰ	3	4					4	4	
		数学Ⅱ	4		2	2	2	2	4	4	
		数学A	2		(2)	2			0・2	2	
		数学B	2				(2)	3	0・2	3	
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2	
		物理基礎	2		3	3			3	3	
		物理	4					3		3	
		化学基礎	2			2				2	
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2		
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7	
		保健	2	1	1	1			2	2	
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	2		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	4		
	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	2	4		
	英語会話	2					2		2		
家庭	家庭基礎	2	2					2	2		
情報	情報の科学	2									
			情報技術基礎（2単位）で代替								
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・15 17・19	21	46・48・50 52・54・56・58	60		
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3				3	3		
		課題研究	2~6			3	3	3	3		
		実習	2~18		4	4	3	3	7	7	
		製図	2~10	3	2	2	2		7	5	
		情報技術基礎	2~6	2				2	2		
		機械工作	2~8		(2)		(2)		0・2・4		
		機械設計	2~8	2	3	3	2	2	7	7	
		原動機	2~6		(2)		(2)		0・2・4		
	家庭	自動車工学	2~10				(2)		0・2		
		電気基礎	2~8		(2)			0・2			
		子どもの発達と保育	2~6		(2)			0・2			
	美術	生活と福祉	2~4			(2)		0・2			
		フードデザイン	2~6			(2)		0・2			
	美術	絵画	2~6			(2)		0・2			
		情報メディアデザイン	2~6		(2)			0・2			
校外学習活動	就業体験	1~6									
	知識及び技能審査	1~20									
	ボランティア活動	1~20									
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	10・12 14・16	8	29・31・33 35・37・39・41	27		
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替								
履修単位の計			29	29		29		87			
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1				
	生徒会活動		別途計画								
	学校行事										
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目								



電気科

全日制課程 工業科（電気）

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度	平成28年度入学生							
		学年	1年	2年		3年		計		
		標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学Ⅰ	3	4					4	4
		数学Ⅱ	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	4	
	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2								
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電気機器	2~6		(2)				0・2	
		電力技術	2~8				(2)・(4)		0・2・4	
		電子技術	2~8		(2)				0・2	
		電子計測制御	2~6				(2)		0・2	
	通信技術	2~8		(2)				0・2		
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
美術	絵画	2~6				(2)		0・2		
	情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2		
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査	1~20								
	ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事		別途計画							
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

建築科

全日制課程 工業科（建築）

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成28年度入学生						
			1年	2年		3年		計	
				専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2		4	4
		国語表現	3				(2)		0・2
		現代文A	2				3	3	3
		漢字の世界	2~4		(2)				0・2
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2
		地理A	2	2					2
		察現代史	2~4				(2)		0・2
	公民	現代社会	2				3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2
	数学	数学I	3	4					4
		数学II	4		2	2	2	2	4
		数学A	2		(2)	2			0・2
		数学B	2				(2)	3	0・2
	理科	科学と人間生活	2	2					2
		物理基礎	2		3	3			3
		物理	4					3	3
		化学基礎	2			2			2
		身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7
		保健	2	1	1	1			2
芸術	美術I	2	2					2	
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	
	英語表現I	2			2	2	2	4	
	英語会話	2					2	2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	
情報	情報の科学	2						2	
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・16 17	21	48・50・52 54・56・58	60
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3
		課題研究	2~6				3	3	3
		実習	2~18		4	4	3	3	7
		製図	2~10	2	3	3	4		9
		情報技術基礎	2~6	2					2
		建築構造	2~8	3	(2)				3・5
		建築計画	2~10				2	2	2
		建築構造設計	2~9		(2)		(2)		0・2・4
		建築施工	2~7		2	2	(2)		2・4
	建築法規	2~5		(2)		(2)		0・2・4	
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2
美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
	情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6							
	知識及び技能審査	1~20							
	ボランティア活動	1~20							
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	12・14 16	8	29・31・33 35・37・39	27
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替						
履修単位の計			29	29		29		87	
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1		
	生徒会活動		別途計画						
	学校行事								
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目						

情報技術科

全日制課程 工業科 (情報技術)

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成28年度入学生							
			1年	2年		3年		計		
				専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2		4	4	
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4			(2)			0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
		数学II	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術I	2	2					2	2	
	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4	
外国語	英語表現I	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎 (2単位) で代替							
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電子技術	2~8		(2)				0・2	
		通信技術	2~8		(2)				0・2	
		プログラミング技術	2~8		(2)		(2)		0・2・4	
		コンピュータシステム技術	2~8				(2)		0・2	
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	※コンピュータ応用実習	2~8				(2)		0・2		
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究 (3単位) で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			( )は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

## 【嬉野高校】

## 総合学科

## 平成28年度入学生用 教育課程表 1

佐賀県立嬉野高等学校

(課程) 全日制課程 (学科) 総合学科

	教科	科目	標準単位数	(第1、2、3年次生)			合計
				1年次履修単位数	2年次履修単位数	3年次履修単位数	
必修科目	国語	国語総合	4	3	2		5
	地理歴史	世界史A	2	2			2
		日本史A	2			△2	0・2
		地理A	2			△2	0・2
	公民	現代社会	2		2		2
		政治・経済	2			△2	0・2
	数学	数学I	3	3			3
		数学A	2	2			2
	理科	科学と人間生活	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	7
		保健	2	1	1		2
	芸術	美術I	2	△2			0・2
		書道I	2	△2			0・2
外国語	コミュニケーション英語I	3	3			3	
	英語表現I	2	2			2	
家庭	家庭基礎	2	2			2	
情報	社会と情報	2	2			2	
合計				26	9	5	40
原則履修	総合	産業社会と人間	2~4	2			2
必修科目合計				28	9	5	42
選択科目合計				2・4	20・26	23・28	45・58
総計				30・32	29・35	28・33	87・100
校外学習活動	知識及び技能審査	1~20					
総合的な学習の時間			3~6	0	1	2	3
履修単位数総計				30・32	30・36	30・35	90・103
特別活動	ホームルーム活動	適当		1	1	1	3

△ 地歴の2科目選択については、1年次「世界史A」の必修と教育課程表1の3年次の「日本史A」・「地理A」・「政治・経済」の選択履修とする。

ただし、「政治・経済」を選択できるのは、「日本史B」か「地理B」の選択者にかぎる。

△ 「美術I」・「書道I」から1科目選択。

※ 第1年次の数学は、集中履修となり、数学I、数学Aの順に履修をする。

※ 第2年次の数学は、人文科学系は総合選択科目の数学IIと校内必修科目の数学Bの集中履修となり、数学II、数学Bの順に履修をする。

※ 第2年次の理科は、人文科学系は必修履修科目の生物基礎と総合選択科目の生物の集中履修となり、生物基礎、生物の順に履修をする。

選択科目一覧表

系 列	総合選択科目											自由選択科目									
	基礎科目					基礎以外の科目															
	教科	科目	単位数	選択学年			備考	教科	科目	単位数	選択学年			備考	教科	科目	単位数	選択学年			備考
1年				2年	3年	合計					1年	2年	3年					合計	1年	2年	
情報 ビジネス 系列	国語	国語表現	3	2	2	4		商業	電子商取引	2~4		2	2		国語	古典基礎	2	2		2	学校
	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校	商業	マーケティング	2~4		2	2		公民	政治・経済	2		2	2	
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4		商業	商品開発	2~4		2	2		外国語	中国語入門	2~4	2		2	学校
	商業	簿記	2~5	6		6		商業	簿記	2~5		4	4		商業	ビジネス基礎	2~4	2		2	
	商業	情報処理	2~4	4	3	7		商業	財務会計Ⅰ	2~4		4	4		商業	コンピュータリテラシー	2~4		2	2	学校
	商業	ビジネス情報	2~4	4	4	8		商業	原価計算	2~4		4	4		福祉	社会福祉基礎	2~6	2		2	
								商業	ビジネス計算	2~4		2	2	学校	福祉	福祉一般	2~4		2	2	学校
観光・ 流通 系列	国語	国語表現	3	2	2	4															
	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校														
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4															
	商業	商品開発	2~4		2	2															
	商業	広告と販売促進	2~4		2	2															
	商業	簿記	2~5	4		4															
	商業	情報処理	2~4	4	3	7															
	商業	ビジネス情報	2~4		4	4															
	商業	観光一般	2~4	3		3	学校														
	商業	観光ビジネスマチエ	2~6		4	4	学校														
商業	観光地理	2~6	3		3	学校															
人文 科学 系列	国語	現代文B	4	2	2	4		地理歴史	日本史B	4	4	3	7								
	国語	古典B	4	2	4	6		地理歴史	地理B	4	4	3	7								
	数学	数学Ⅱ	4	3		3															
	数学	数学B	2	2		2															
	数学	総合数学	2~6		5	5	学校														
	理科	生物	4	1	3	4															
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4	4	2	6															
外国語	英語表現Ⅱ	4	2	4	6																
文化 教育 系列	国語	国語表現	3	2	2	4		国語	実践国語	2~4	2	2	2~4	学校							
	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校	芸術	美術Ⅱ	2		2	2								
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4		芸術	書道Ⅱ	2		2	2								
	家庭	子どもの発達と保育	2~6	3	3			英語	英語理解	2~4	2		2								
	家庭	ファッション造形基礎	2~6	4	4	8		英語	時事英語	2~6		2	2								
	家庭	フードデザイン	2~6	4	4	8															
	外国語	中国語Ⅰ	2	2		2	学校														
	外国語	中国語Ⅱ	2		2	2	学校														
英語	時事英語	2~6	2		2																
社会 福祉 系列	国語	国語表現	3	2	2	4															
	数学	総合数学	2~6	2		2	学校														
	福祉	社会福祉基礎	2~6	2		4															
	福祉	介護福祉基礎	2~6	2	3	5															
	福祉	コミュニケーション技術	2~4	2		2															
	福祉	生活支援技術	2~12	4	6	10															
	福祉	介護過程	2~6	2	2	4															
	福祉	介護総合演習	2~6	1	2	3															
	福祉	介護実習	2~16	2	6	5	13														
	福祉	こころとからだの理解	2~12	3	6	9															
英語	英語理解	2~6	2		2																

※ 「介護実習」  
 ・1年次2単位 2年次6単位 3年次5単位 合計13単位の校外実習がある。  
 ※ 社会福祉系列に進むものは、1年次の総合選択科目の社会福祉基礎を選択しなければならない。

資料6 教員配置について

1 平成30年度以降の新高校の配置教員数試算

高校標準法に基づく副校長（教頭）・養護教諭の配置数の見込

（単位：人）

項目		年度	H30年度 （開校時）	H31年度	H32年度以降
職員	副校長（教頭）		2	1	1
	養護教諭		2	2	1
生徒の 所属校	1年生	新高校	旧高校	新高校	新高校
	2年生	旧高校		旧高校	
	3年生				

高校標準法...「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」

H30年度以降の配置教員数（試算）については、高校標準法に基づき、県立高校再編整備推進室で試算。

H31年度以降、法定では教頭が1人しか配置されず、H32年度からは、養護教諭も1人しか配置されないため、配置教員数から1人を切り崩して充てなければならない。



**課題** 生徒収容定員減に伴う教職員定数減の状況の中、新高校の教育内容を維持・発展させていくには、教諭等の数の確保が必要である。

2 課題への対応として考えられること

便宜上、「分校制に基づく校舎制とすることで、教職員数の確保を図る

校舎制において、便宜的に塩田校舎を「本校」、嬉野校舎を「分校」と規則上位置付けることにより、高校標準法の算定基準が変わり、配置される教員数が若干多くなる。

（参考資料1 参照） 『佐賀県立学校の分校の設置に関する規則』

嬉野校舎を「本校」、塩田校舎を「分校」とした場合は、高校標準法施行令に準じれば教職員数減（実習助手3人減）となる。

ただし、校舎（校地）呼称については、「本校」「分校」という呼称とはせず、あくまでも校舎制として「塩田校舎（仮）」「嬉野校舎（仮）」とする。

また、両校舎（校地）の扱いはあくまで対等なものとし、学校運営上、「本校」「分校」としての役割は特に設けない。

なお、他県においても同様の形態で校舎制を運用している県立高等学校がある。

（参考資料2 参照）

参考資料 1

1 「分校制にもとづく校舎制」とした場合の配置教員数の増減の試算

平成 31 年度に 5 学級から 4 学級となった場合

年度	配置教員数 (試算)(A)	分校制とした 場合の配置教員数 (試算)(B)	差 (B)-(A)
H28 参考	(実績) 63		
H30	57	60	+3
H31	50	51	+1
H32	41	44	+3
H33	39	42	+3



副校長(教頭) 養護教諭の 配置数	
副校長(教頭)	養護教諭
(実績) 2	(実績) 2
2	2
1	2
1	1
1	1

平成 32 年度に 5 学級から 4 学級となった場合

年度	配置教員数 (試算)(A)	分校制とした 場合の配置教員数 (試算)(B)	差 (B)-(A)
H28 参考	(実績) 63		
H30	57	60	+3
H31	52	54	+2
H32	50	53	+3
H33	41	44	+3
H34	39	42	+3



副校長(教頭) 養護教諭の 配置数	
副校長(教頭)	養護教諭
(実績) 2	(実績) 2
2	2
1	2
1	1
1	1
1	1

分校制とした場合は、そうでない場合と比較して、H31 年度以降 1 ~ 3 人教員配置が多くなるため、その分を養護教諭又は教頭・副校長に充当することができる。



## 参考資料 2

### 他県の事例

#### ～ 三重県立南伊勢高等学校ホームページより～

##### 校舎制 Q&A

Q、校舎制とは、具体的にどのようなものですか。本校・分校とはどう違うのですか。

A

「校舎制」とは、統一した基本方針のもとに、3つの校舎を持つ1つの学校として機能させるものです。上にも述べたように、「校舎制」では、学校の基本である授業は各校舎で行い、教員が必要に応じて校舎を回る『各校舎ごとの学習』と、合同で実施すること で切磋琢磨の機会や社会体験の場を広げる『3つの校舎の合同学習』を効果的に組み合わせ、魅力ある学校づくりを行います。

大学の「キャンパス」「キャンパス」のようなものと考えていただくとよいと思います。

校舎間に上下関係はなく、3校舎それぞれが地域に根ざした教育活動を行います。法令・規則上は南勢校舎を本校、南島・度会校舎を分校として、予算や教員数を確保します。

### 三重県立南伊勢高等学校

#### 【沿革】

2004年4月 - 三重県立度会高等学校・南勢高等学校・南島高等学校を統合して開校。  
それぞれ度会校舎・南勢校舎・南島校舎とする（校舎制の高等学校としては三重県初）。  
2008年3月 - 南島校舎を閉校。

#### 【校舎・学科・募集定員】

校舎（校地）	学科	募集定員	備考
南勢校舎	普通科	40人	連携型中高一貫
度会校舎	普通科	80人	

校舎間距離： 16.1 km

募集定員はH28年度入試のもの。

三重県の規則上では、南勢校舎が本校、度会校舎が分校となっている。

【合同行事等】いくつかの行事や部活動、検定などを合同で行っている。

行事（入学式、マラソン大会）

部活動（野球部、柔道部、バスケットボール部、ソフトテニス部）

各種検定（漢字検定、PC検定、簿記検定、英語検定）



## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
  - 二 新高校の施設・設備に関する事
  - 三 新高校への円滑な移行に関する事
  - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要する事

## (組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
  - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
  - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

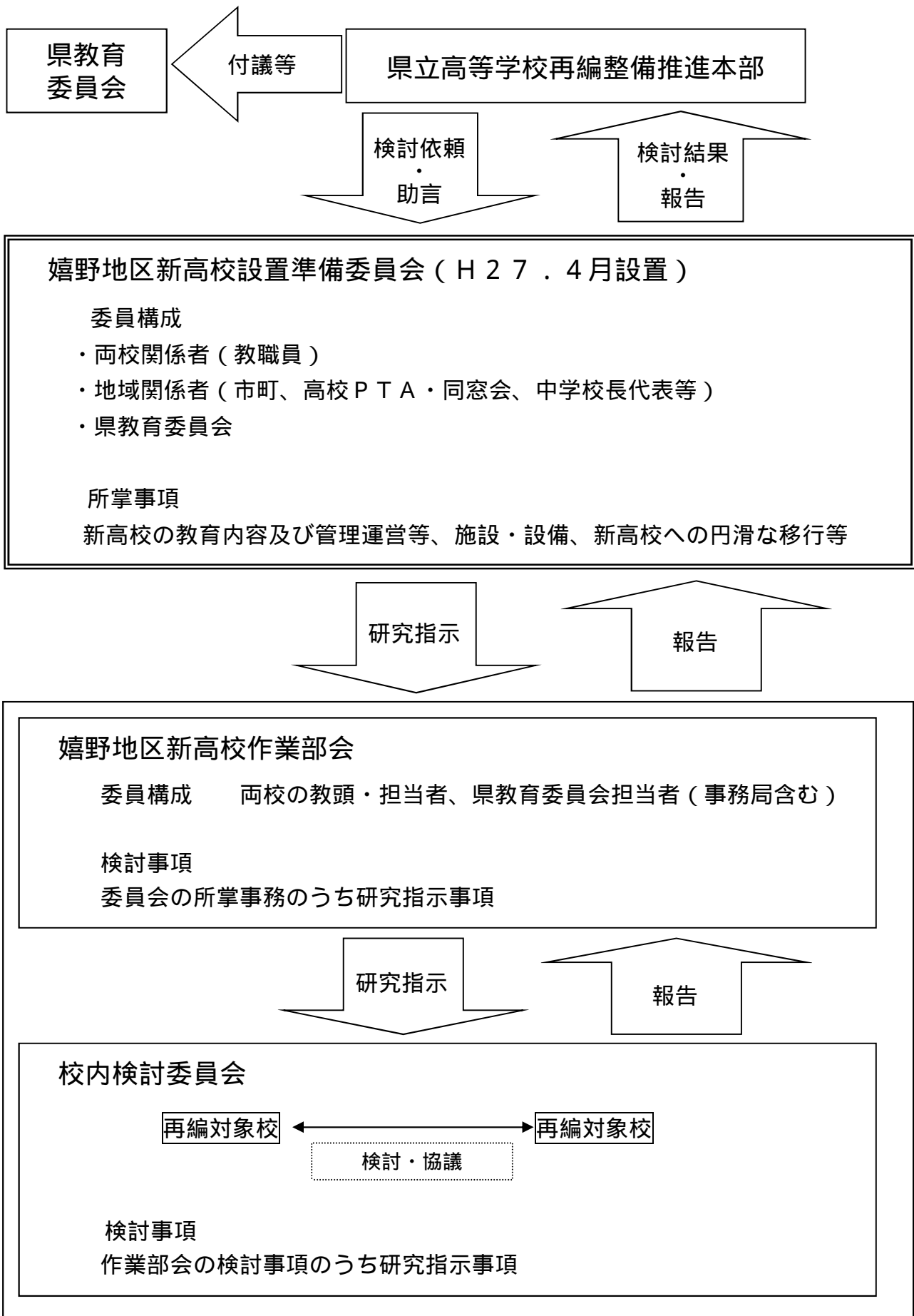
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

## (補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



## 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考			
1	塩田工業高等学校 校長	副島 政史	委員長・学校関係者			
2	嬉野高等学校 校長	掛園 真樹	副委員長・学校関係者			
3	塩田工業高等学校 教頭	津川 久博	学校関係者			
4	嬉野高等学校 教頭	原 美和				
5	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者		
6	嬉野市副市長	中島 庸二				
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市			
8	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市			
9	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者			
10	嬉野高等学校 同窓会代表	山下 芳郎				
11	塩田工業高等学校 PTA代表	中山 信之				
12	嬉野高等学校 PTA代表	田中 秀則				
13	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者			
14	嬉野市立嬉野中学校長	太田 公治				
15	教育総務課長	源五郎丸 靖	県教委関係者			
16	教育振興課長	五反田 進				
17	教育情報課長	碓 浩一				
18	教職員課長	福地 昌平				
19	学校教育課長	松尾 敏実				
20	保健体育課長	吉松 幸宏				
21	県立高校再編整備推進室長	原 和弘				
22	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰				
事務局	塩田工業高等学校指導教諭	見浦 浩徳				
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世				
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司				
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎				